

ジュエリー文化史研究会からのお知らせー173ー

2015.10.1

◎鈴木はる美さん研究レポートについて

ー露木 宏

「女性の視点から見た明治期の指輪の普及要因」

10月31日(土)1時から1時間(10分か15分延長になるかもしれません)

参加費 1,000円(当日払い)

かねてから思っていたことなのですが、近代以降は、
ジュエリーは女性が身につけることが圧倒的に多い。
しかし、そのジュエリーについて語るのはほとんどが男性。
ジュエリー業界もどこにいても大きな顔をしているのは男です。

文化の世界でも服飾の研究者には女性が多いのですが、
装身具となると、これまでは一私も含めて一男の世界です。

(欧米では女性の研究者が目立つ)

日本でもそろそろ女性が女性の視点からジュエリーを見るべき時期に
きていると思います。そうすると男では気付かないジュエリーの
本当の豊かさが(その精神性も含めて)見えてくると思います。

その先駆けが今回お話しいただく鈴木はる美さんです。
ちょっとオーバーに言わせていただければ「女性装身具史」が、
ここから誕生するのです。

ぜひとも、ご参加ください。

お申込みは事務局 深谷(info@jj-craft.com)まで。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com